

本当は好きだからやる

一月二十二日 水曜日 本当は好きだからやる

一時間目は 苦手な古文の時間。

名簿の後ろから順番に当てられた。

今日は 枕草子の口語訳や文法解説をさされた。

僕は 先生の言われる事や、
その文の誤訳の訂正で
一生懸命であった。

今日は 必ず当たる番だと確信していた。
予習をがっちりしてきた。

しかし、この世の中は
予想通りには、いつも行かない様だ。

運良くと言ったら良いのか、
それとも、がっかりと言ったら良いのか、
わからないが、名簿四番の藤谷で時間切れ。

名簿三番である僕は金曜日にまわされた。

なんだか、うれしいのか、
がっかりしたのか、
割り切れない気持ち。

柴式部と清少納言、これが女の名か。